

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>	中国語II A [文法・文化理解] C202 Intermediate Chinese A [Grammar, Cross-cultural understanding]				担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 道坂 昭廣			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>本授業は、読解を中心とした授業である。          本授業の目的は以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1・初級で学んだ文法事項を確認しながら、中国語の読解力を養成する。</li> <li>2・WEB上に音声教材を置き、自由にアクセスすることで正確な中国語の発音を身につける。</li> <li>3・日本でもよく知られる中国古典詩文(唐詩・宋詩など)と、その現代中国語による訳文と解説を読み、</li> <li>4・中国語と中国文化に対する理解を深める。</li> </ol>									
【到達目標】									
<p>中国語の発音体系を身につけることができる。中国語の読解能力を高めることを第一の目的としつつ、ネイティブの朗読音声を聞くことにより、聞き取り能力を向上させる。中国の古典詩文の朗読読解を通して、中国文化について理解を深める。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>唐代と宋代の有名な律詩を現代中国語で読み、また現代中国語によるその訳文や解説を読解して行く。</p> <p>原則的に、3回の授業で一作品を読む。音読と読解を通して、ある時期まで中国ばかりか東アジアの教養であった古典詩文に対する理解を深める。なお、フィードバック方法は別途連絡する。それぞれ一度は目にしたことのある有名な作品を取り上げ、その朗読によって中国語のリズムを体得するとともに、解説訳文を読むことにより、中国語の読解力を高める。</p> <p>中国人の朗読音声を使用することにより、音読及び聞き取りの練習も行なう</p>									
【履修要件】									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
【成績評価の方法・観点】									
<p>原則として定期試60%、平常点40%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。</p> <p>平常点については、正確な音読と日本語訳を評価の基準とする。中国語音読が不十分であった場合は、平常点としてカウントしないことがある。試験については、音読の代替として、ピンインから中国語への変換も求める。</p>									
【教科書】									
ピンインを付したプリントを配布する。授業後半ではピンインのみのプリントを配布する場合もある									
【授業外学修(予習・復習)等】									
教材のURLを授業前に通知するので、必ず発音練習を行い、日本語訳を準備して出席すること。中心となる古典詩については各自で発音を調査すること。									
【その他(オフィスアワー等)】									
最初の授業において紹介する。									